

神奈川県

黒川岡上学生農場 ～学生が育てる未来農業の実践フィールド～

● 黒川岡上学生農場のきっかけ

- ・ 明治大学農学部が、実践的な農業と、農作業を通じた地域への貢献と交流を目指したことがきっかけ。
- ・ 令和7年3月に、農業体験や知識普及を通じて、次世代育成に貢献することを目的に、NPO法人を設立した。

● 2つの拠点「黒川圃場」と「岡上ハウス農場」

- ・ 黒川圃場は、里山の自然豊かな環境の中で、自然との共存を意識した、露地での農業体験を提供している。
- ・ 岡上ハウス農場は、都市近郊型で、自動灌水システムや特殊なLEDライトなどを使用した施設園芸による、実践的な農業体験を提供している。

● 農業を通じた新たな価値観との出会い

- ・ 農産物加工：種から育てた収穫物を用いた加工実習を通じて、農業と生活のつながりや、6次産業化への関心を高めるきっかけを提供している。
- ・ 販売・マーケティング：学生が相場から価格設定を行う。また、接客や広報なども実践的に実施している。
- ・ 地域交流イベント：地域住民との農作業や収穫体験を通じて、世代を超えた参加者との絆を深めている。

学びと交流が実る黒川圃場
ー地域と学生の共創ー



イチゴの香りが漂う岡上ハウス
ー学生が挑む施設園芸ー



● 法人の運営

- ・ 学生中心の組織により、農作業予定、イベント（販売・加工）企画、広報や事務・会計などを分担して運営。
- ・ 企業や法人への賛同者からの技術協力や寄付により、活動資金や苗・培養土などの資材提供を受けている。
- ・ 黒川圃場と岡上ハウス農場は、学生への学習と地域への貢献などを条件に借用し、一部管理費用を負担。

● 活動の効果－地域社会、他学部への好影響－

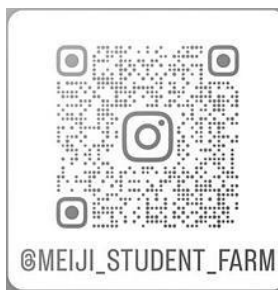
- ・ 「若い世代との関わりが刺激になる」「収穫だけでなく、育てる楽しさを味わえた」といった声が寄せられ、高齢者や親子連れとの世代間交流の場として定着。
- ・ 学部間交流（国際日本学部：中野キャンパス）は、普段関わりが少ない農業の大変さと楽しさを同世代へ提供。

● 今後の展望

法人運営は試行錯誤であり、援助や補助金の活用を模索しながら、NPOの運営と学生生活の両立に励む。

● 詳しい情報（Instagram、ホームページ）

成功も失敗も包み隠さず、ありのままを配信中！今年のテーマは「地域交流」です！ぜひ見てね！



★ 概要 ★

NPO法人黒川・岡上学生農場（HP）

団体設立：令和5年 活動分野：農業体験（栽培・加工・販売）、地域との共創
メンバー：学生36名（うちNPO役員名9名）、問い合わせ先：mu.studentfarm@gmail.com

農場からまちへ、地域と学生
がつながる、笑顔の野菜販売



育てるのは野菜だけではない、
学生先生と小さな生徒の交流

